すなやま

和歌山市立砂山小学校

2月号　令和３年２月１日発行

暦の上では　もう春です

校長　小杉　栄樹

如月（着更衣、きさらぎ）と言われる２月。まだまだ寒さが続きますが、暦の上では、もう春です。雪消月（ゆきげつき）梅見月（うめみづき）の別名にはほっと心が和みます。早いもので、２月に入りました。２日が節分、３日が立春です。暦の上では春とはいうものの、まだまだ寒さが続きます。

「学校アンケート」に ご協力ありがとうございました

昨年11月に実施しました「令和2年度学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。集計結果についてご報告させていただきます。

【児童アンケートより】

○「学校が楽しい」「友達と仲良くしている」と答えた児童が全体の 94 ％以上です。高い数字ですが、100 ％をめざし、子供たちの心に寄り添いながら、より良い人間関係を構築していけるよう努めてまいります。

○「掃除を一生懸命する」「給食が楽しみ」と答えた子も 90 ％以上です。砂山の子は掃除に一生懸命取り組みますし、給食もおいしく食べています。

○「毎日の勉強がわかる」について、84 ％の子たちが「わかる」と答えていますが、16 ％の子が「わからない」と答えています。今後は子供たちの理解度をしっかりと把握し、よりきめ細やかな指導を行っていきたいと思います。

○「挨拶ができる」「家族に学校のことを話す」は、20 ％以上の子が「できていない」と答えています。ご家庭とも協力しながら継続的な指導を行っていきたいと思います。

【保護者アンケートより】

○「わかりやすい授業を工夫している」では、94 ％の評価をいただきました。今後も「どの子にもわかりやすい授業」の研究に取り組んでいきます。

○「教育活動の様子を保護者にわかりやすく伝えている」では、約 90 ％の評価をいただました。学校便りや学年便り、学校ホームページ等を活用して、子供たちの教育活動の様子を発信していきたいと思います。

○「いじめをなくす学校づくりに取り組んでいる」では、78 ％の評価をいただいていますが、13 ％の方から「そう思わない」という回答を得ています。「学校は生命を大切にする心やルールを守る態度を教育し、子供たち一人一人を大切にしようと努めている」では 91 ％の評価を得ていますので、学校の取組をより理解していただきながら、子供たちの言動や様子の変化を素早く捉え、いじめのない学校づくりに努めてまいります。

○「学校施設は美しく使いやすい」は 83 ％の評価です。来年度 100 周年に向けて、教育環境の整備に努め、教育委員会にも働きかけます。

○お子様について、「楽しそうに学校に通っている」は 98 ％の評価ですが、「挨拶ができる」「学校での出来事を話す」では 70 ％前後になっています。児童アンケートでも同様の結果が出ています。ご家庭と協力しながら継続的な指導を行っていきたいと思います。

これらの結果につきましては、教職員一丸となり、積極的に改善策の検討を行い、今後の学校運営の参考とさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございました。今後とも砂山小学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「キャリア教育」について

今年度から学校では「キャリア教育」が実施されています。「キャリア教育」とは、一人一人の社会的・職業的自立のために、必要な能力や態度を育てることを目的とする教育活動です。多くの大人や地域の方々と交流し、多様な生き方や価値観に触れ、経験し、感じることにより、学ぶ意欲を育てます。もちろん今までもそのような教育活動は行ってきましたが、小・中・高校の連携をとりながら進めていきます。小学校で学んだことが、中学校、さらには高校に活かされ、引き継がれながら、それぞれの発達段階に応じた教育活動を行います。そのために、それぞれの学年で学んだことをファイルに閉じ、次の学年・学校へと引き継いでいきます。そのファイルを購入させていただきます。1 冊 180 円です。各クラスの２月の集金で集めさせていただきます。このファイルは、小学校６年間はもちろん、中学３年間、高校３年間、計 12 年間使用することになります。子供たち一人一人にとって、貴重な「学びの足跡」となります。大切に使用してほしいと思います。